

御嶽山噴火に伴う木曾川上流域水質保全対策検討会

会議資料

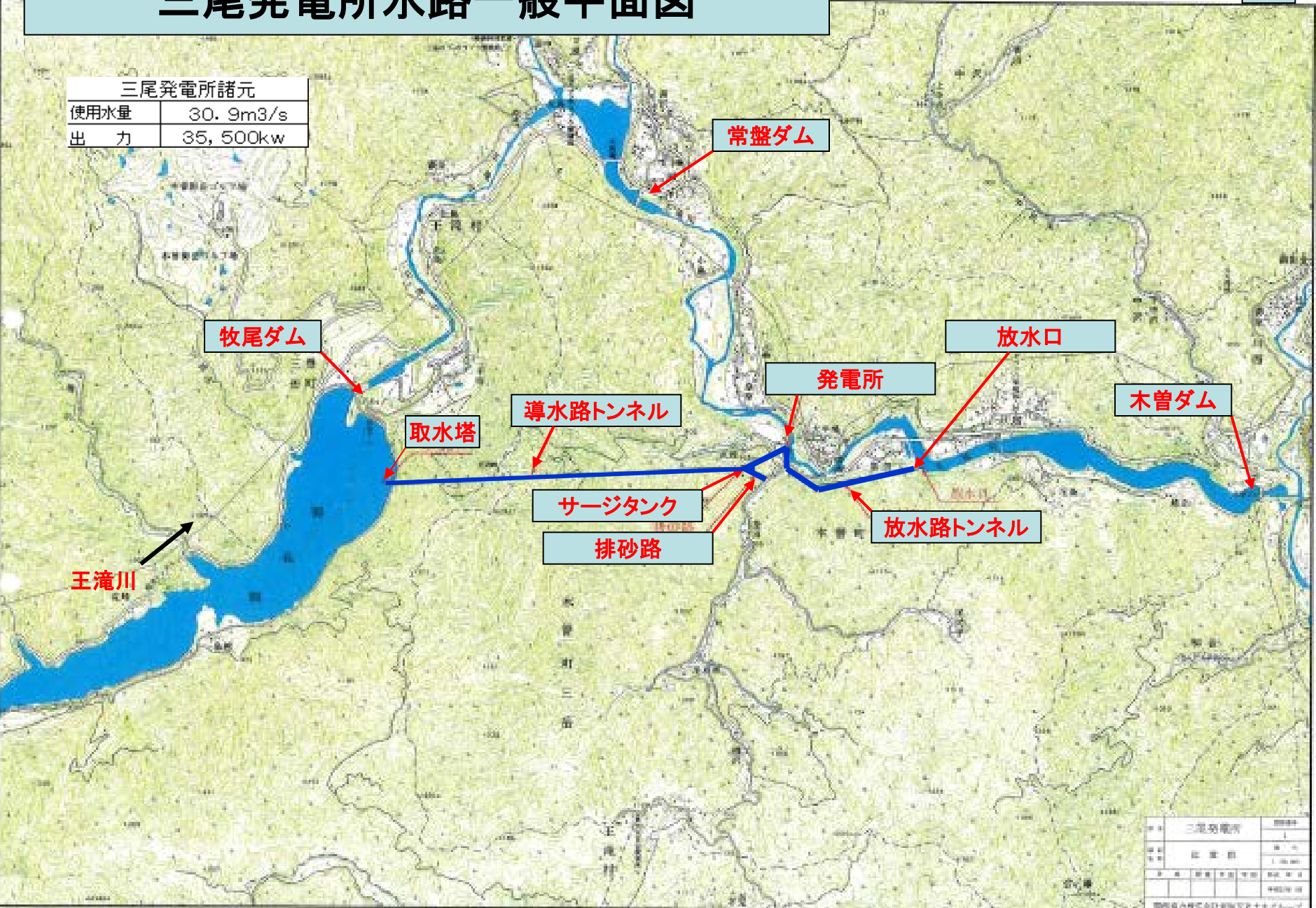
(三尾発電所発電時の濁水抑制対策案について)

平成27年 2月12日

関西電力株式会社 東海支社

三尾発電所水路一般平面図

三尾発電所諸元	
使用水量	30.9m ³ /s
出力	35,500kw



名称	三尾発電所	図面番号	1
所在地	長野県 三尾町	縮尺	1:100,000
作成者	国土院 国土院水資源部	作成日	2010.10.15
更新者	国土院 国土院水資源部	更新日	2010.10.15
備考	国土院 国土院水資源部 国土院水資源部		

三尾発電所取水塔前面の調査結果

平成27年1月17日～18日にかけて、三尾発電所取水塔前面の水中部状況を潜水士により、調査を実施した。

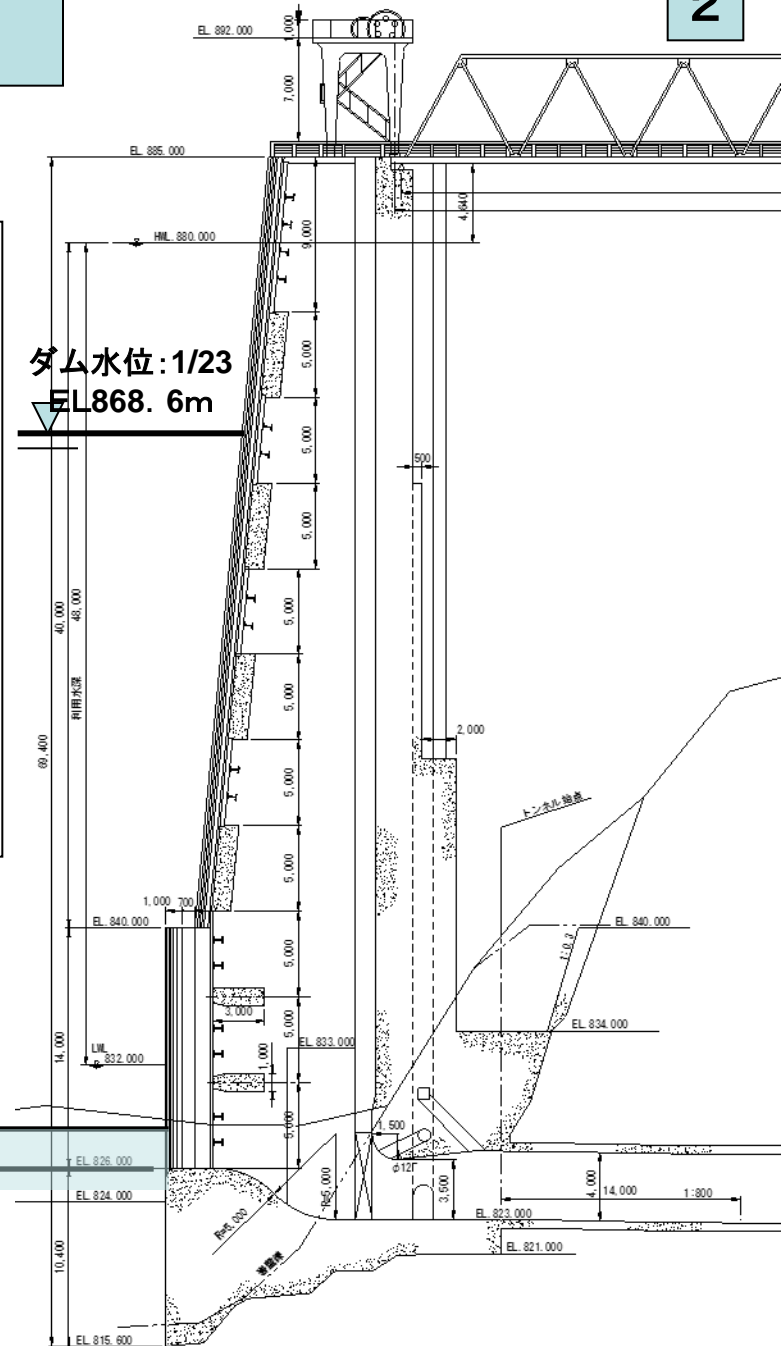
その結果、取水口前面の角落し溝の状況および、湖底の沈降している白濁物質の状況、高さを確認できた。

白濁物質は、取水口敷より1.3mの高さまであり、濁りの境界がはっきりしている。

白濁物質の状況として、ふわふわと沈降している状況であった。

白濁物質沈降標高: EL827.3m

取水口底部標高: EL826.0m

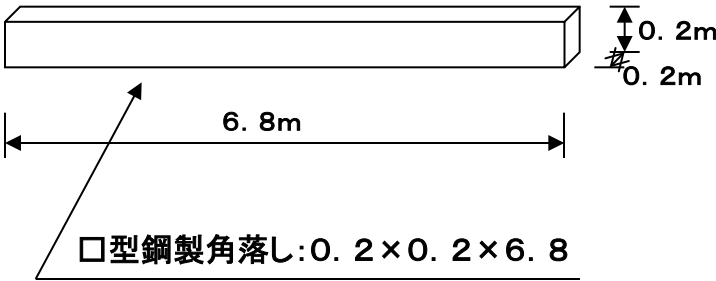


三尾発電所運転再開に伴う白濁物質抑制対策案

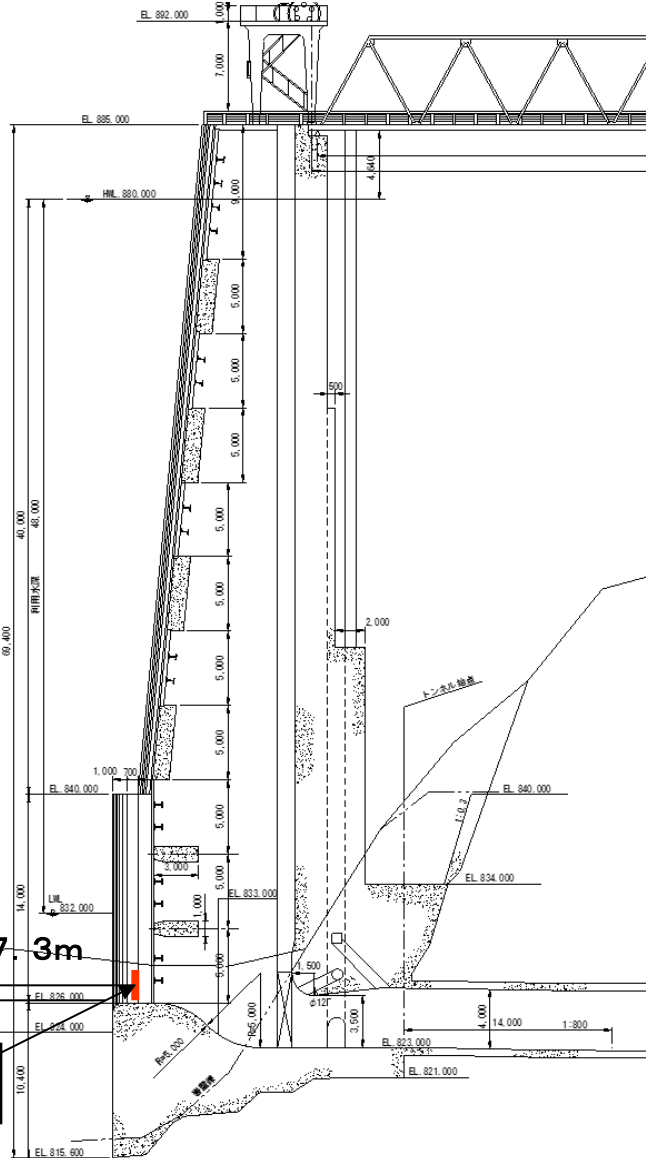
三尾発電所の発電運用再開に向けて、取水口前面の角落し溝に角落しを挿入し、白濁物質の流出抑制を図ることとします。

角落し設置高は、白濁物質沈降高さ以上にし、また、発電取水への影響を考慮し設定します。設置は、取水口スクリーン取替を実施しているため取替工事完了後に行います。

角落し概略図(1段)



取水塔断面図



白濁物質沈降標高: EL827.3m

取水口底部標高: EL826.0m

角落し設置

三尾発電所運転再開に伴う有水試験の水質調査(案)

三尾発電所は、現在発電機の工事を行っており、工事完了後は、有水による水車・発電機等の性能確認試験を行わなければなりません。試験には、発電機からの放流が必要となります。

この有水試験期間と平行して、放流水の水質監視を行います。水質監視の期間としては、性能確認試験中は、性能確認試験内容により放流量を、変動させる必要があるので、水質を監視しながら、性能確認試験を行い、発電所の通常運転が出来る状態になったのち、改めて通常運転により試験放流を行います。

発電機性能確認試験期間(予定):平成27年 4月下旬～5月上旬

試験放流(予定):平成27年 5月中旬

・試験期間中の水質モニタリング体制:

先に行われた「牧尾ダム放流設備による試験放流」を参考に計画します。

詳細の計画については、検討中です。